

令和6年度 第2回 医療・介護・住まい部会 次第
(田川市地域包括ケアシステム推進協議会)

令和7年3月17日(月) 18:00～

田川市役所 4階 第2委員会室

1 開会

2 部会長挨拶

3 議事

(1) 令和6年度事業の実績及び令和7年度事業計画について

ア 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」 【資料1-1】

イ 「多職種連携のための場づくり」 【資料1-1】

ウ 「住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進」 【資料1-2】

エ 「高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備」 【資料1-2】

(2) その他

4 閉会

次回 令和7年6月頃開催予定

◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域で必要な医療・介護サービスが受けられる

事業の柱	A 在宅医療・介護の提供	
事業	ア 医療と介護の情報共有の仕組みづくり	イ 多職種連携のための場づくり
担当課	保健福祉課福祉政策係 高齢障がい課高齢介護係	高齢障がい課高齢介護係
令和6年度 事業実績 (評価)	<p>【保健福祉課】</p> <p>●医療と介護の連携・・・(別紙1) 2025年を目途に地位包括ケアシステムの構築を目指すとともに、2040年に向けて地域共生社会を実現するという国の方針を見据え、病院と介護施設等との情報共有や連携を推進し、地域での暮らしを最後まで支援することを目指す。 入退院時の医療と介護間の情報提供が円滑に行えるよう、市内共通様式の作成に取り組んでいる。 ・退院時情報記録書(共通様式) … 市内で入退院の取扱いが多い7病院での活用を目指している。</p> <p>様式を活用している病院については、令和6年5月頃に正式運用を開始し、2か月後に内容の検証を行っている。見やすいように用紙サイズを大きくしたが、内容については特に意見、要望もなく順調に活用できている。 共通様式を修正して活用予定であった病院が活用を取りやめている。現在、使用している看護サマリーに不足項目を記入することで足りるため様式を使用しないこととなった。</p> <p>【高齢障がい課】</p> <p>●医療・介護関係者間の情報共有 地域の医療・介護の資源を把握することを目的に、在宅療養のしおりを、令和6年度は2月現在7回の更新を行っている。随時最新情報に更新し、田川医師会でのホームページ公開により市民への周知を行っている。</p> <p>●入退院時等連携会議 医療機関への入退院の際に、医療と介護が切れ目なく一体的に提供され、退院後の生活や療養を支えることができることを目指し、医療従事者と居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員が情報共有や意見交換等を行う。 令和6年度は1回開催(10月8日実施)し、下記の議題について情報共有・意見交換を行った。 令和6年度版入退院時連携マニュアル更新完了報告 退院時情報記録書について 「令和5年度介護支援専門員からの要望事項のお知らせ」後の現状報告 令和6年度診療報酬・介護報酬改定の概要について また、新たな議題がなかったため、第2回目の会議開催はしなかったが、病院と居宅介護支援事業所へアンケート調査を実施し、連携を取れていることの確認、困り事について共有した。 医療と介護の関係機関の関係構築が出来ており、今後も取組みは継続したい。</p> <p>●入退院時連携マニュアル作成 要介護・要支援状態の患者(利用者)の入院から在宅への復帰を円滑にし、退院後も安心して在宅で生活や療養ができるようにすることを目的として、病院関係者及びケアマネジャーの双方が、必要な情報を共有し連携するための手順をまとめたもの。 年に1度田川市郡で更新作成を行い、各事業所等へ周知・配布する。3月更新予定。 市郡での事務は協力して順調に行うことができ、今後も年に1度の更新し、病院関係者等に周知予定。</p>	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●田川地区多職種連携 医療・介護関係者の知識の習得のための研修を支援。 ・田川地区多職種連携研修会(医師会主催) 10月30日開催 「田川地区での災害リスクと発災時の連携体制の構築に向けて～中田川ブロックの地域の課題について」51名参加 田川市(中田川地区)で災害を起こったことを想定し、グループワークを実施した。田川市で災害が起こった時に専門職として何が出来るのか等話し合い、参加者からは非常に有意義だったと意見が多く、事業実施の目的は達成した。</p> <p>●ケアカフェたがわ・・・(別紙2) 医療・介護・福祉従事者と地域住民をつなぐ研修会の開催 第1回 7月19日開催 70人参加 「住民が主役の介護予防～人生100年、自分たちで、自分たちのために、できること～」 第2回 10月4日開催 64人参加 「看取りについてのフィジカルアセスメント・特定行為について」 第3回 12月14日 市民公開講座 120人参加 「いのちをつなぐ～地域でのあたたかな看取りに向けて～」</p> <p>・第1回、第3回は市民向け、第2回目は専門職向けに実施した。 ・第1回、第2回は予定人数(50名)を超える参加となった。 ・第1回、第2回のアンケート結果はいずれも、「とても満足」及び「おおむね満足」の感想が、ほぼ100%となっている。 ・また、専門職を対象とした第2回の参加者からは「勉強になった」、「他の職種の意見聞けて参考になった」等の声が多く聞かれた。 ・第3回は、福岡県立大学との共催で、「市民公開講座」として開催し、120名の方に御参加いただいた。参加人数も多く、周知・広報が出来たと考えられる。 以上のことから、「市民向け」、「専門職向け」の講座とも、一定の成果が得られていると判断している。</p>
令和7年度 事業計画 (協議会の方針を反映した事業)	<p>【保健福祉課】</p> <p>●医療と介護の連携 患者のスムーズな退院支援をするために、退院時情報記録書がどのような様式で誰が、どのように使うのかということをもう一度確認しながら進めることが必要との意見があったが、その後の確認で退院時情報記録書の活用の有無にかかわらず、現状で連携できているとの回答がある。そのため、様式については一区切りとし、新たな取組についても検討していく予定。</p>	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●ケアカフェたがわ 令和6年度事業を継続して実施する予定 市民公開講座は3～4年に1回程度の頻度での開催予定であったが、毎年開催する方向へ修正</p>
その他	<p>【保健福祉課】</p> <p>●地域医療構想調整会議</p>	

退院時情報記録書(共通様式)活用の市内 7 病院対応状況

別紙1

	病院名	状況	詳細	課題・今後の方針
1	医療法人 和光会 一本松すずかけ病院	活用中	<ul style="list-style-type: none"> 共通様式を使うのは難しいため、精神科の内容に合わせてサマリーを作り直した。 いったんプレ運用を行い、様式を微修正した。その後、5月から正式運用を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 不具合や利用者の反応について、2か月程度使用した時点(令和6年7月末頃)で検証を行う予定。 情報量が多く見にくいという意見が出たので、A4の用紙をA3に変更して使用している。内容については、特に意見や要望は出ていない。
2	医療法人社団 敬信会 大法山病院	活用可能	<ul style="list-style-type: none"> 病棟師長と協議し、案件は少ないが活用してみることになった。市施設へは少なく、他市や郡への退院が多いため、年1~2件になる可能性あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護サマリーとするには内容が不足しているため、案件があった際は、看護サマリーと別に共通様式を作成する予定。(事務が対応) 現時点で対象となる案件なし。
3	社会福祉法人 柏芳会 田川新生病院	活用 取りやめ	<ul style="list-style-type: none"> 看護サマリーと共通様式の項目を比較し、共通様式のみにある項目(睡眠等)を看護サマリーに追加することとして様式の修正を行う。追加項目決定済。 共通様式のみにある項目を看護サマリーに追記することとしたため様式の修正・活用を取りやめた。 	<ul style="list-style-type: none"> 追加項目が決定したので、今後様式の修正を行う。遅くとも10月には使用開始する見込み。(令和6年5月時点) 項目を比較し見直しを行った。サマリーに不足していたのが3~4か所だったので、様式に追加を検討していたが、必要な場合のみ不足項目を記入すれば足りるため、今後の様式活用予定なし。
4	社会保険 田川病院	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 院長を含めた管理者会議にかけ、進める方針ではあるが、他病院の状況や介護側の意向が不明のため動きづらい。すぐに進めるのは難しいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール感や他病院の取組状況を共有したい。共通様式自体については、介護側から改善の余地ありとの意見も聞いたので、もっと煮詰める必要があるのではないかと。
5	田川市立病院	検討中	<ul style="list-style-type: none"> 医療と介護の連携は必須なので、活用に向けて前向きに進めていきたい。ただし、実際に活用するまでの課題も多い。 病院の性質からも、田川市立病院と社会保険田川病院は運用を揃えた方がよいのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護サマリーとの重複や作成書類の増加、患者の状況(属性)によって使い分けが必要など、かなり課題がある。内容に応じて空欄も可とする、病院によって様式を修正するなど、柔軟性をもってやれる方がよいのではないかと。
6	医療法人 鷹ノ羽会 村上外科病院	活用不可	<ul style="list-style-type: none"> カルテは全て手書きのため、ナースの負担が増えてしまう。導入は難しい。 	
7	医療法人 昌和会 見立病院	活用不可	<ul style="list-style-type: none"> 様式の活用は難しい。 	

令和6年度 第2回 医療・介護・住まい部会（事業説明）

別紙2

事業の柱	A 在宅医療・介護の提供	担当課	高齢障がい課 高齢介護係
事業	イ 多職種連携のための場づくり		

事業名	令和6年度(今年度)実績報告とその課題	令和7年度(来年度)実施方針
ケアカフェ たがわ	<p>地域ケアに関わる専門職及び地域住民(50人程度)がグループ討論や意見交換を行うイベントに加え、令和6年度は「ケアカフェたがわ市民公開講座」として、市民を主なターゲットとした大人数の講座を新たに開催した。</p> <p>一般の方への周知として、広報たがわへの掲載、LINE配信、田川後藤寺駅前液晶ディスプレイでの放送等を行い、参加者は120名となり大好評のうち終了した。</p>	<p>地域ケアに関わる専門職及び地域住民(50人程度)がグループ討論や意見交換を行うイベントは継続。</p> <p>市民公開講座については、3～4年に1回程度の頻度で開催する予定であったが、令和6年度公開時のアンケートでも好評であったことや、共催の福岡県立大学やケアカフェたがわのコアメンバーからも、多くの地域住民に来てもらい、在宅介護や看取り、ACP(人生会議)について考える機会を増やしてほしいとの意見があり、検討した結果、今後は毎年取り組む予定としている。</p>

◎部会目標 高齢者が住み慣れた地域に必要な医療・介護サービスが受けられる

事業の柱	B 高齢者の居住確保										
事業	ウ 住宅のリフォーム・バリアフリー化の推進	エ 高齢者向け賃貸住宅の供給促進及び施設等の整備									
担当課	【建築住宅課住宅政策係】	【高齢障がい課高齢介護係】 【建築住宅課住宅政策係】									
令和6年度 事業実績 (評価)	<p>【建築住宅課】</p> <p>●民間住宅への取組</p> <p>市民の快適な住環境の整備を目的に、住宅リフォーム工事にかかる費用の一部を補助し、高齢者等に適した住環境の整備を目指す。</p> <p>・個人住宅 32件分・助成額740万円の予算で事業に取組み、下表のとおり補助金を交付決定した。</p> <table border="1" data-bbox="289 744 1087 848"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助申請 総数</td> <td>33件</td> <td>5,870,000円</td> </tr> <tr> <td>うちバリアフリー化リフォーム</td> <td>13件(39.3%)</td> <td>2,277,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和7年2月18日時点)</p> <p>・要件拡充 … 屋内事故防止等の住宅改修補助メニューを追加したものの、今年度の利用は0件であった。</p> <p>・加算制度の開始 … 転入を伴う近居・隣居に対し、補助金額に10万円を加算する制度を開始し、今年度の利用は1件であった。</p> <p>・拡充や加算制度に伴う予算確保 … 昨年度比+48%の予算を確保したことで、より多くの個人住宅のリフォームを推進することができた。</p> <p>●市営住宅への取組</p> <p>将来的な市民の住生活の安定と向上を目的に、バリアフリー化が不十分な市営住宅や老朽化している市営住宅に対し、建物の整備・住民の住替え等を計画的に推進する。</p> <p>・移転交渉 … 建替対象団地(日吉町・中央・新野上・平和)の住民の継続居住希望者7戸に対し、老朽化する住宅からの住替え等を促す交渉を継続し、住生活の向上を図る。</p> <p>・建替え整備に伴うバリアフリー化 … 向陽台団地の建替えにあたり、高層棟においては、室内のバリアフリー化や共用部のバリアフリー化(エレベーター設置)を行った。また、平屋棟10戸においては、高層棟と比較してよりバリアフリーに配慮するため、その仕様を検討した。</p>		件数	金額	補助申請 総数	33件	5,870,000円	うちバリアフリー化リフォーム	13件(39.3%)	2,277,000円	<p>【高齢障がい課】</p> <p>●介護保険施設整備…(別紙3)</p> <p>○施設整備の方針について</p> <p>・施設整備については、福岡県高齢者保健福祉計画の中で整備量の計画を立てており、本市は、今期計画(令和6年度～8年度)中は、整備しないこととしている(令和5年度に方針決定)。</p> <p>・令和6年度について</p> <p><施設整備></p> <p>令和6年度12月1日現在の施設入所率87.9%(詳細は別紙)</p> <p>軽費老人ホームについては満床となっているが、施設全体では不足とならず、現在のところ充足していると捉えている。</p> <p>軽費老人ホームについては、入所状況等を注視していき、次の整備方針を決定したい。</p> <p><施設改修(補助金に関する情報提供)></p> <p>介護施設における適正なサービス環境を維持するため、施設改修に対する補助金(国施策)について、周知を行っている。今年度は、国の補正予算の関係もあり、2度募集を行った。(最終的な申請はなし)</p> <p>今後も情報があつた場合は速やかに周知を行う。</p> <p><その他></p> <p>地域密着型サービス事業所の指定更新(6年に1回)に係る現地調査(1件)</p> <p>【建築住宅課】</p> <p>●市営住宅への取組</p> <p>将来的な市民の住生活の安定と向上を目的に、市営住宅建替えに伴う高齢者対応賃貸住宅の整備や周辺環境の整備等を計画的に推進する。</p> <p>・スマートウェルネス(SWC・SW住宅)の視点を取り入れた整備</p> <p>・高齢者向け住戸の整備 … 向陽台団地の整備において、生活動線の利便性を考慮した橋梁設置、高層棟と比較してよりバリアフリーに配慮した平屋棟の仕様の検討、立地適正化計画(都市計画課)と整合を図る等 SWC・SW住宅の視点を取り入れるとともに、高齢者がいる世帯でも安心して生活できる市営住宅の整備を行った。</p>
	件数	金額									
補助申請 総数	33件	5,870,000円									
うちバリアフリー化リフォーム	13件(39.3%)	2,277,000円									
令和7年度 事業計画 (協議会の方針を反映した事業)	<p>【建築住宅課】</p> <p>●民間住宅への取組・市営住宅への取組み</p> <p>令和6年度事業を継続して実施する予定。</p>	<p>【建築住宅課】</p> <p>●市営住宅への取組み</p> <p>令和6年度事業を継続して実施する予定。</p>									
その他		<p>【高齢障がい課】</p> <p>●地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金(国)</p> <p>●福岡県高齢者福祉施設等施設整備費補助金(県)</p>									

